

番号	2						
テーマ	ペイントと音	♪山の音楽家の世界を楽しむ					
実施回数・期間 (注2)	3回(4回) 令和7年5月～令和8年3月						
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	
	6人	6人	3人	人	人	人	人
活動内容 (注3)	<p>講師の先生が楽器の紹介をしてくれて、タンバリンをトントントンと鳴らすと子どもたちも真似てトントントン、シャラシャラシャラ～と鳴らすときれいな音色に子どもたちはうっとり。</p> <p>♪タンブリンを歌うと自然と緊張もほぐれて笑顔になったところでペイントを紹介。タンバリンのようにトントントンとも模造紙に描いて見たりしました。歌に合わせて手型や色を重ねていき、♪おおきなたいこにあわせて強弱も教わり、ドンドンと力強く描くと足でもドン・・と足型までつけられて全身を使って音を表現して楽しんだ。ペイントの色は赤、青、黄色、緑と子供達の一番知っている色をつかった。</p>						
	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。						
	<p>※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか</p> <p>子供達が不安にならないように直ぐ側に寄り添っていた。メロディーに合わせて自由に表現できるように子供の要求にすぐに答えられるように先生たちが隣でジェスチャーや小さな声も漏らさないように一緒に活動に参加することで、友達の活動と一緒に見たり真似したりできるように関わりを多く持てるように促した。</p>						
	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。						
	<p>※記録をどのように行ったか</p> <p>デジカメで写真を撮った。活動中は職員全員で子供の表情、ジェスチャー等の表現に着目して、メモを取り記録した。終了後には、報告書に職員一人一人記述しミーティングで気付いたことなども含め共有した。</p>						
	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。						
	<p>※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか</p> <p>楽器の扱い方を教わってもそのとおりにできなくても楽しく打ち鳴らすことができていればOKと入口のハードルを低くしていたので自由に初めての楽器も楽しく演奏もでき、さらにペイントで表現する楽しさも体験することができた。楽しかったと思えるように先生たちも一緒に参加することで不安にならないようにまた、汚れなどの苦手意識が薄れるように安心できるように常に優しく声掛けを行った。</p>						
	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。						
	<p>※振り返りの実施方法</p> <p>振り返りのミーティング・報告書などをもとに前回との違いや、更に良くなった点。子供達の目の輝きが増した部分などを共有した。</p>						
	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。						
	<p>※教諭や保護者等への共有方法</p> <p>保護者へは園内に実際に行ったペイントの模造紙を掲示し、送迎時に探究活動の様子をお知らせした。また、見学者、面接者などへはホームページに掲載し共有した。</p>						
	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問い合わせや環境の構成を考えた。						
	<p>※継続的な実施のための工夫</p> <p>次の探究活動のさらなる充実に向け、子供達がもっとスムーズに活動の動きができるように職員も増やすことなども含め環境の構成を考えた。緊張感や苦手意識が減るようにさらに保育活動中にもペイントや楽器遊びも取り入れて取り組みやすいようにしていく事などを職員間で共有した。</p>						